

# 第56回 社会貢献者の記録



第 56 回

# 社会貢献者の記録



# 目次

---

表彰選考委員プロフィール	004
式次第	005
会長挨拶	006
来賓祝辞	008
記念写真	010
表彰式スナップ写真	013
乾杯のご発声	020
受賞者代表挨拶	021
祝賀会スナップ写真	024
社会貢献者表彰とは	028
受賞者手記 目次	029
資料編	112

## 表彰選考委員プロフィール(五十音順)

委員長



脚本家 東北大学相撲部 総監督

内館 牧子

脚本：「ひらり」「てやんでえッ!」「私の青空」「毛利元就」「エイジハラメント」ほか多数

著書：「終わった人」「今度生まれたら」ほか多数

委員



元国税庁長官 認定 NPO 法人ベトナム簿記普及推進協議会 名誉会長

大武 健一郎

著書：「税財政の本道一国のかたちをみすえて」「平和のプロ日本は戦争のプロベトナムに学べ」ほか多数

委員



産経新聞 大阪本社 編集局 編集長

小川 記代子

委員



IU 情報経営イノベーション専門職大学 教授

久米 信行

著書：「メール道」「ブログ道」(NTT 出版)「NPO のための IT 活用講座 効果が上がる情報発信術」「すぐやる人だけがチャンスを手に入れる」ほか多数

委員



ノンフィクション作家 公益財団法人民間放送教育協会 会長

吉永 みち子

「ワイド!スクランブル」コメンテーター  
著書：「気がつけば騎手の女房」「性同一性障害」「26の生きざま」「老いの世も目線を変えれば面白い」「試練は女のダイヤモンド」ほか多数

# 式次第

---

## 第一部 表彰式

10：30…開 式

- ・ 会長挨拶
- ・ 選考委員紹介
- ・ 表彰状並びに副賞の贈呈
- ・ 来賓祝辞

12：20…閉 会

## 第二部 祝賀会

12：30…開 宴

- ・ 乾杯のご発声
- ・ 受賞者代表挨拶
- ・ 奨励賞の贈呈

13：30…閉 会

(2021年11月29日 於帝国ホテル東京)

## 会長挨拶

---

皆様おはようございます。社会貢献支援財団の会長を務めております安倍昭恵でございます。

第56回社会貢献者表彰式典を開催するにあたりまして、受賞者をご推薦下さいました皆様、また日本財団はじめ、ご協力をいただいております関係各位に厚くお礼申し上げます。

本日は40件の受賞者皆様の表彰をさせていただきますが、まずは受賞者の皆様、そしてその活動を支えていらっしゃるご家族はじめ関係者の皆様、おめでとうでございます。心から敬意を表しますとともに衷心よりお祝いを述べさせていただきたいと存じます。

さて、新型コロナウイルス感染症の第5波もようやく収束の兆しが見えまして、新規感染者は少数の状態です。ヨーロッパの再拡大の様子などを見ますと、まだ気を緩めるわけにはいかない状況です。

本式典も引き続きコロナ禍であることを念頭に、このような会場造りで開催の運びとなりました。

コロナ禍での受賞者の皆様は、活動の資金繰りはじめ、外出の制限などで、一層厳しさが増す中で運営されている状況下でございます。私どもは、この7月に創立50周年の記念式典を挙行いたしました。その折に過去10年程の受賞者の皆様に、現在の活動状況等につきまして、アンケート調査を行いましたところ、子ども食堂や子どもの教育支援、また自立援助ホームやシェルターなどをされておられます皆様から食料、特にお米が欲しいという切実なお願いが寄せられました。

その緊急性の高さから、当財団として出来ることを今すぐにしようと福島県の農家と連携しまして、私が山口で作りましたお米と共に急遽、合計30トンのお米を、37団体にお贈りいたしました。

また先日、子どもの学習支援や居場所支援をされている第51回表彰式の受賞者NPO法人キッズドアを運営されている渡辺由美子さんから、支援先の家庭を対象にアンケートを行ったところ、7割の家庭が昨年より大幅に収入が減っていて、国や行政に支援を要請しているとのお話も伺いました。



本日の受賞者の皆様は、コロナ禍にありながらも、本来ならば国民全員の共助による支援が望まれているところを、限られた方々で活動が続けていらっしゃいます。

大変な状況下ではございますが、どうか皆様には活動をしていただき、誰にとりましても、明るく住みやすい世の中になりますよう今後ともお力をお貸しいただきたくお願い申し上げます。

そして一つご提案がございます。歴代の選考委員長のお願いでもございますが、本日の副賞は活動資金としてではなく、ぜひともご家族や活動の関係者の皆様でお使いくださいということでございます。それが皆様の新たな活力となるのであれば、これほど嬉しいことはございません。

最後に、本日ご列席の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、私の挨拶といたします。

公益財団法人社会貢献支援財団  
会長 安倍 昭 恵



## 来賓祝辞

ご紹介を受けました日本財団の笹川でございます。長年にわたる皆様方のご活躍が評価されて、この度賞を受けられることに心からお祝い申し上げます。本当に多くの方々が社会の隅々でという失礼ではございますが、ご活躍いただいていることは本当にありがたいことです。



世の中には生活に困っている方々が数多くいらっしゃいます。本来これは公助と申しまして、国や行政に面倒をみていただくわけですが。また私たち健康な人間は、自助努力で生きていくわけですが、そういう公助と自助の間に共助という言葉があります。これは日本人が古くから持っている素晴らしい精神ではないかと思えます。

共助、すなわち助け合って生きていく、ともすれば自分本位になりまして、一人で社会を生きていけると思いがちですけれど、多くの方々のご協力、ご支援無くしては生きていけないわけです。電車に乗るにしても運転手さんがいなければ乗れませんし、食べ物も農家の皆様のご努力が無ければ食べられないわけですから、ともすれば人間ひとりで生きていけるんだという傲慢な考えになりがちですけれども、冷静に考えてみれば、この日本人が古くから持っている共助の精神、これは農耕民族特有のものではないかと思えます。田植えひとつにしましても、ひとりでは出来ません。お互い助け合って、どこから順番にやるか、また収穫の時にはどこから収穫するか、そういうことを皆さんで話し合いながら、また日本は災害大国ですから、多くの災害は、そのたびにお互いが助け合って生きてきた、そういう二千年の長きにわたる素晴らしい伝統と文化、歴史というのは世界で日本だけです。そういうなかで皆様方が、多様化する社会のなかで、公助だけでは助けられない人々を、高い志を持ってお働き下さり助けていただいているわけで、私自身もその一部分の仕事をさせていただいておりますが、多くの日本人の善意と申しませうか、高い志があつて今日の日本という国ができたのではないかと考えております。

世の中には、多くの富める人がいらっしゃいます。豊かさにはふたつあるのではないのでしょうか。ひとつは物質的な豊かさですが、お金を持っている方々は果たして豊

かで幸せなのでしょうか。今日お集まりの皆様方、表彰された皆様方は、物質的な豊かさに優る心の豊かさを持った方々だと思います。人生一度しかありません。人生をどのように生きるかが問題です。残念ながら人間はひとりで生まれ、最後はひとりで死んでいきます。あらゆる富も名声も全部捨てて、ひとりで死んでいかなければなりません。となるとやはり人生は貴重な一回限りの、神か仏様からいただいたものでしょう。皆様方はそういう意味におきまして、良く生きていらっしゃる、そして多くの方々、高い志と深い人間に対する愛情を持って接していただいている、誠に心豊かな方々ばかりだと思います。

日本財団はそういう皆様方のお手伝いを長くさせていただいております。表彰された方の中には、日本財団の支援を受けられた方もいらっしゃいました。どうぞ遠慮なくお困りのときには、日本財団にご連絡をください。皆様方とともに、恵まれない方々のために、あるいは困難を抱えている人たちのために、あるいは心の悩みを持った人たちのために、お手伝いをさせていただくのが日本財団です。そういう意味で皆様方と心は同じです。これからもどうぞお体に気をつけてお働きいただきたいと思ひますし、皆様方こそ真の心の豊かな方だと思います。どうぞ皆様方が心豊かな人生を歩みつつ多くの皆様方のために愛の手を差し伸べていただいていることに心から感謝申し上げます、またご健勝にて更なるご活躍をいただきますよう心からお願いを申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。誠にめでとうございました。そしてありがとうございました。

公益財団法人日本財団  
会長 笹川陽平

# 記念写真
















- |       |                                  |       |                                      |      |                               |                                    |                            |                                 |                                       |       |                                    |                                 |      |                                    |            |
|-------|----------------------------------|-------|--------------------------------------|------|-------------------------------|------------------------------------|----------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|-------|------------------------------------|---------------------------------|------|------------------------------------|------------|
| 田嶋 洋介 | 大野 金一<br><small>茨城いのちの電話</small> | 古川 琢也 | 小野寺 紀子<br><small>防護服支援プロジェクト</small> | 大高 徹 | 馬場 繫子<br><small>スランダー</small> | 青井 百合子<br><small>シャクナゲ子供の家</small> | 安倍 昭恵<br><small>会長</small> | 五十嵐 弘志<br><small>マザーハウス</small> | 斉藤 興仁<br><small>CHANGアジアの子供財団</small> | 太田 修嗣 | 中谷 裕子<br><small>会費サービスあじむい</small> | 柳井 春花<br><small>株式会社ヤナイ</small> | 岡崎 寛 | 織田 智子<br><small>フィールボランティア</small> | フィールボランティア |
|-------|----------------------------------|-------|--------------------------------------|------|-------------------------------|------------------------------------|----------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|-------|------------------------------------|---------------------------------|------|------------------------------------|------------|



- |               |          |             |        |        |        |       |             |       |         |              |          |           |       |        |        |        |
|---------------|----------|-------------|--------|--------|--------|-------|-------------|-------|---------|--------------|----------|-----------|-------|--------|--------|--------|
| 浅野美幸とJLMの仲間たち | 株式会社レキオス | 鹿児島市更生保護女性会 | ベシヤール会 | 仁藤 夢乃  | 金井 玲子  | 伊能 まゆ | SeedtoTable | 安倍 昭恵 | 栗林 克行   | Saran Gordon | ロザリン・ヨーン | 女性ネット     | 松本 和子 | 松本 待子  | 引地 恵   | 井上 るみ子 |
| 浅野 美幸         | 官保 文雄    | 徳田 繁代       | 村上 優   | Coibao | ふどうのいえ |       |             | 会慶    | (AsiaU) |              | 光希屋(株)   | SayaSavya |       | いづのあきこ | WATLIS | いづのあきこ |



												
ユースガートリアン 阿部 泰尚	木下 るみ子 Annbee	OMOYARIプロジェクト 草刈 健太郎	JSAT Co., Ltd. 西垣 充	早川 千晶	災害NGO結 前原 土武	安倍 昭恵 会長	難病の子どもの家族へ夢を 大住 力	アドボカシーセンター 木村 弘子	大阪読書者支援 田口 嘉孝	カンボジアの健康及び教育と 地域を支援する会 栗木 純子	慈愛会 慈愛寮 古庄 重生	バコタの会 佐藤 宝倉

# 表彰式

















## 乾杯のご発声

選考委員長の内館でございます。

今日改めて皆様のお働きを拝見して、そしてご本人様たちとお目にかかって、思い出したことがあります。それは昨日、全勝優勝しました横綱照ノ富士のことです。照ノ富士は、大関から序二段にまで落ちたんですが、序二段というのは、いったいどのくらい下っ端なのか、お分かりにならない方も多いと思うのですが、これはもう後ろを見たら新弟子しかないランクです。



会社でいえば横綱を社長としたときに、副社長は大関です。彼は副社長の時に、決定的な両膝の怪我をしました。これはもう治る可能性は無いと外科医が仰っていたくらいの大怪我でした。加えて内臓疾患がありました。このふたつがあってはもう力士としては致命的で辞めるしかないわけです。当然、副社長の座からどんどん番付が落ちました。副社長で社長を目前にしていた男が、新弟子しかない序の口、そのひとつ前まで落ちたんですね。そこから復活して社長になるという事はあり得ません。絶対にあり得ません。それが復活して社長になった。綱を張って土俵入りをして、そして二場所連続優勝。さらに誰にも負けずに全勝優勝を果たした、というのが昨日のことでした。

私がどうしてそれを思い出したかといいますと、照ノ富士が成功した、復活した理由というのは、結局たったひとつだと思っているのです。もちろん医学的なこと、お医者様の力はありますけれども、ご本人は決して投げやりにならなかったんです。今日この席に伺って、これだけのお働きをなさっている皆様ですから、どれくらい大変なことが多いだろうかと思いました。そのご苦勞というのは、絶望するくらいの場合もあると思います。どうぞそういうときに「照ノ富士！、照ノ富士！」と心の中で唱えてください。投げやりにさえならなければ、陽はまた昇ります。

皆様の、どんなときにも必ず陽が昇るということと、健康を祈念いたしまして乾杯したいと思います。

どうぞご唱和ください。

乾杯。

## 受賞者代表挨拶

---

ベトナムの農村で地域の環境を守り、人々が幸せに安心して暮らしていくための活動を実施しております、特定非営利活動法人 Seed to Table の代表、伊能まゆと申します。この度は大変意義深い、栄えある賞を賜り、誠にありがとうございました。



Seed to Table は2009年よりベトナム北部の山岳地域にて少数民族であるムオン族の皆さんと在来のタネを守る活動や環境教育を開始しました。おりしもベトナムは目覚ましい経済発展の最中で、環境問題や貧富の格差が生じていました。とりわけ、ベトナム南部メコンデルタの農村部では気候変動が人々の暮らしに影響を及ぼし始めており、また、土地を失った農家が日雇い労働者となるなど、貧困化が進んでいました。こうした状況を鑑み、メコンデルタへ活動の拠点を移し、貧困世帯の生活改善、有機農業を通じた生計向上と地域の環境改善、次世代の育成、そして、枯葉剤被害者へ支援などを行ってきました。

私たちの支援の方法は、支援が終了しても地域の人々が自分の足で立って暮らしていけるよう、「魚」ではなく「釣り竿」を支援し、「釣り方」について共に考え、実践していくというものです。とりわけ、貧困世帯は安定した現金収入がないため、現金を支援したり、貸してしまうと、日々の生活費などに使ってしまう、貧困から脱却できません。そこで、私たちはお金ではなく、アヒルや牛を貸す「銀行」を作りました。

まず、貧困世帯は「アヒル銀行」から25羽のヒナを借り、アヒルを育てて食肉として販売した後にヒナ代を返済します。アヒルの飼育に成功した世帯は借りるヒナの数を増やしたり、牛を借りることができます。「牛銀行」では貧困世帯がメスの牛を一頭借り、妊娠・出産後、メスの子牛を一頭、返済します。「銀行」という形式を取り、村の財産として管理・運営していくことで、多くの貧困世帯をサポートできる仕組みを作りました。さらに、貧困世帯は研修に参加し、アヒルや牛を飼う方法や、餌代や売上げなどお金の出入りを管理できるよう帳簿のつけ方を学びます。この研修に参加しない人はアヒルや牛を借りることはできません。貧困世帯が研修で飼育の仕方を学び、「銀行」の資本となるアヒルや牛を失わないようにすることで、長く「銀行」を維持・運営できる体制にしました。これまでに延べ1,000世帯が「銀行」からアヒルや牛を借り、約70%の世帯が貧困から脱却しました。中には、1年目にアヒルの飼育

に成功し、2年目に牛を借りて増やし、3年後には0.5haの水田を購入するまで経済力をつけた世帯もありました。私たちが支援した金額はインフラ整備事業などに比べると、遥かに少額ですが、多くの貧困世帯が自分の足で立ち、自信をもって人生を送れるようになりました。

また、私たちは次世代の育成にも取り組んでいます。先日、第76回国連総会が開催され、各国の首脳はほぼ例外なく、気候変動が人々の暮らしや環境に及ぼす深刻な影響や早急な対応が必要であることに触れていました。私たち、一人ひとりのライフスタイルを根本から見直し、待ったなしで変えていかなければならない時が来ています。Seed to Tableは、ベトナムの農村で自然を守るだけでなく、自然を守る人々の暮らしや幸せも大事に考えてきました。なぜなら、人々の暮らしが安定せず、幸せに暮らせなければ、自然を守ることも難しいからです。人々が楽しく幸せに暮らしていくためには、経済的な安定だけではなく、助け合える家族や仲間が必要です。そして、人々の心を豊かにする地域の文化を守り、家庭や学校だけではない広い意味での教育が必要だと考えます。こうした考えにより、ベトナムの子どもたちと学校菜園を作り、有機野菜を育て、生態系を観察し、シェフの皆さんと共に地域の食文化について学び、自然資源の大切さや今のライフスタイルの問題点や改善策について話し合ってきました。この活動を通じて、若い世代が気づき、考え、行動していく姿を見て、手ごたえを感じています。世界の情勢は、ますます混沌とし、将来がどうなるのか、見通せません。しかし、これからの社会を担う若者が、希望を失わず、自分の生まれた地域の自然や文化を大事にし、家族や仲間と支え合って生きていけるよう、私たちは地道に活動を続けていきたいと思えます。

最後に改めまして、私どものような小さな団体の小さな活動にご関心を寄せて頂き、そして、評価してくださり、誠にありがとうございました。今後も希望を捨てず、精進して参ります。

特定非営利活動法人 Seed to Table  
～ひと・しぜん・くらしつながる～  
伊能まゆ





# 祝賀会



